

きらめき通信

50

相和小学校放課後教室
発行日 2020.10.15
発行責任者 野地 泰次

フリン

工藤 直子

これはなにですかと きいたら
かあさんは「これはぶりんです」と いいました
ぶりんぶりんと ゆれて
さらに のってきだからかなと おもいました
ぶりんは つめたくて あまいの
わたしの めが ぱちぱちします
でも すくなくなるので 「まる
したべろを まるくして
ちびっとだけ ぶりんをのせるこ
おいしくて くちが わらいたくなります
めをつぶって じっとしてました
かあさんは「あそんでないで はやくたべなさい」
と いいました

もう なくなつた
おさらを なめたいです
まごから しろいくもが みえました

あのころ、「こどもである」という意識どころか、「にんげんである」という意識もなかったように思います。◆そんな「なにもでもない」状態で味わったものが、こども時代にたっぷり詰まっている気がします。◆いま「おとな」になつて眺めてみると、あのときの風景や時間は、不思議なぐあいには伸びちぢみたりゆれたりしているようにみえる。だからそれを語ろうとするこども、伸びたりちぢんだりゆれたりしました。◆あなたの、こどものころの空には、どんな風が吹き、どんな光がこぼれていたんだろう。

(あとがきより)

『こどものころにみた空は』三水舎

スーッと 集中して学習に向かう



放課後教室の一日の始まりは、勉強からです。宿題・家庭学習、終わったら読書……というのが流れですが、かなり定着してきました。ごく自然にランドセルから課題を出し、静かに取り組み始めます。当たり前と言えばその通りなのですが、こうなるまでには時間がかかるのです。

当たり前なことを当たり前こなして
いくながら、素晴らしいと思えます



皇帝のおやつ?!

間違い。「校庭」でした。



石榴(ざくろ)



木通(あけび)

一日の日照時間が短くなってきました。夕方5時過ぎるとかなり暗い感じになります。でも、困ったことは、人数が多いときらめきルームに戻ることをためらってしまいます。そうです。「蜜」です。ただ、放課後教室で「三密」を避けることは、かなり難しい状況であり、致し方ないかな、とも思っています。マスクの着用、こまめな手洗い、大声の防止……。これらの徹底をめざしてはいますが……。

相和小の校庭周辺には、食べられる実がいくつもあるのをご存知ですか。書き出してみましよう。「ざくろ」「あけび」「むべ」「みかん」「きんかん」「かき(渋柿ですが)」ここまでで6種類。時には、ツツジの花の蜜をチュウチュウ吸っていることもあります。実は、まだあるのですが、なんでも口に入れてしまう子どもたちです。内緒にしておきます。ちょっとした「おやつ」と考えているようにも思います。なかなか見られない光景でしょう。